

【抗議声明】

北朝鮮の3度目の核実験強行に強く抗議する。北朝鮮は、核開発及び弾道ミサイル計画を即時中止し、核兵器のない世界と朝鮮半島の非核化のため誠実に努力することを強く要求する。

2013年2月13日
原水爆禁止神奈川県協議会
理事長 片野 憲二
横浜市中区野毛町2-16大沢ビル4A
TEL 045(231)6284

北朝鮮は、2月12日午前11時57分(日本時間)、2009年に続き3度目の地下核実験を強行した。北朝鮮のこの暴挙は、核兵器廃絶を願う国際世論や「すべての核兵器及び核計画を放棄」し、これ以上の核実験の中止を求めた一連の国連安全保障理事会決議に真っ向から反するものであり、原水爆禁止神奈川県協議会は強く抗議する。

今回の行為は、北朝鮮が昨年12月に実施した「ロケット発射」と称するミサイル発射に対し全会一致で決議した「核実験またはいかなる挑発もこれ以上実施しない」よう求めた国連安保理決議(2087)に違反し、どんな理屈を並べようとも正当化できるものではない。まさに、核兵器廃絶を求める国際社会への挑戦である。

北朝鮮は、国際社会の一員であるならばこの決議を受け入れ、一切の核兵器及びミサイル開発を即時中止し、朝鮮半島非核化のため誠実に努力すべきである。

米日韓中ロと北朝鮮が参加する「6ヶ国協議」は、朝鮮半島の非核化をめざすとともに、北東アジアの平和と安定を保障する枠組みに発展することが想定されている。この道こそ世界にとっても、北朝鮮にとっても展望ある道であることを北朝鮮は肝に銘じ、無条件で「6ヶ国協議」に復帰すべきである。

以 上